



神戸市会議員 西ただす

ごあいさつ

厳しい寒さが続いています。お元気ですか。阪神淡路大震災より15年目の日からはじめた毎日宣伝は、3年目を迎えました。

この間、東日本大震災では、たくさんの復興募金もいただきました。ところが、今、その思いを踏みにじる「震災復興予算の流用」問題が起こっています。被災地の「雇用の維持・創出」の補助金が他の地域に回り、避難の原因となった原発分野の研究事業費に使われています。これは、民自公3党が強行した復興基本法が原因です。

新政権誕生も、民意を反映したものとはなっていません。「政治を国民の手に取り戻す」その決意で今年も訴え続けます。



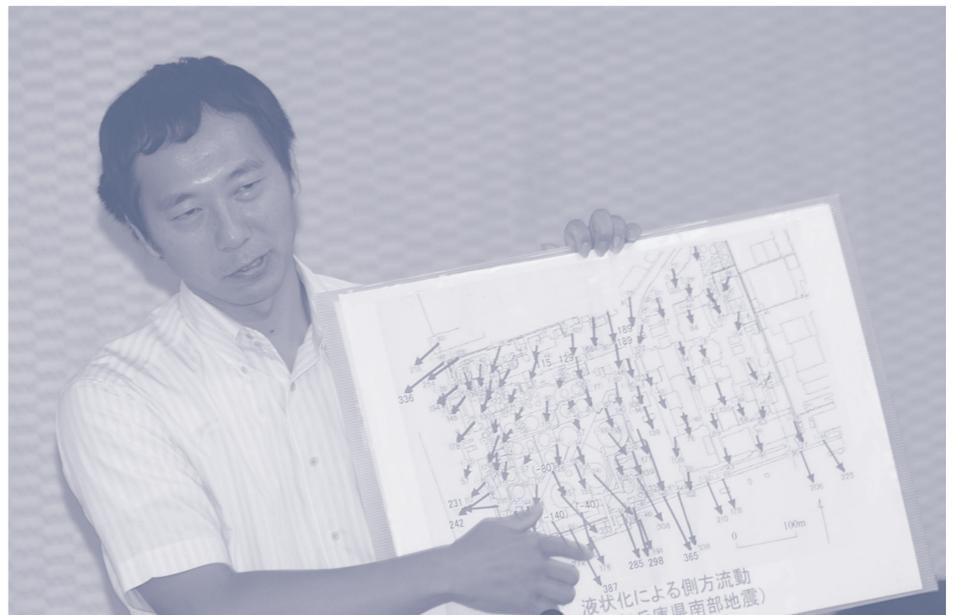
中学校給食署名は、東灘区で1万筆に達しました!!

災害に強く、エネルギーの自給自足ができる神戸へ 決算議会

【危機管理室】

昨年、南海トラフ大地震の想定が発表されました。東灘区では最悪の場合、2号線の南部まで津波が到達する深刻な結果となっています。昨年9月には、姫路市で化学工場の爆発事故が起りましたが、東灘区沿岸部も県下有数の危険物集積地となっています。阪神淡路大震災時には、タンクの破損で住民が一斉に避難しました。

津波被害と阪神淡路大震災で起こった液状化現象が重なった場合、住宅地域への被害が予測されます。液状化対策の強化が必要です。西議員は、行政として、事業者への施設の情報提供を求め、防災訓練に住民も参加できる環境をつくることを提案しました。

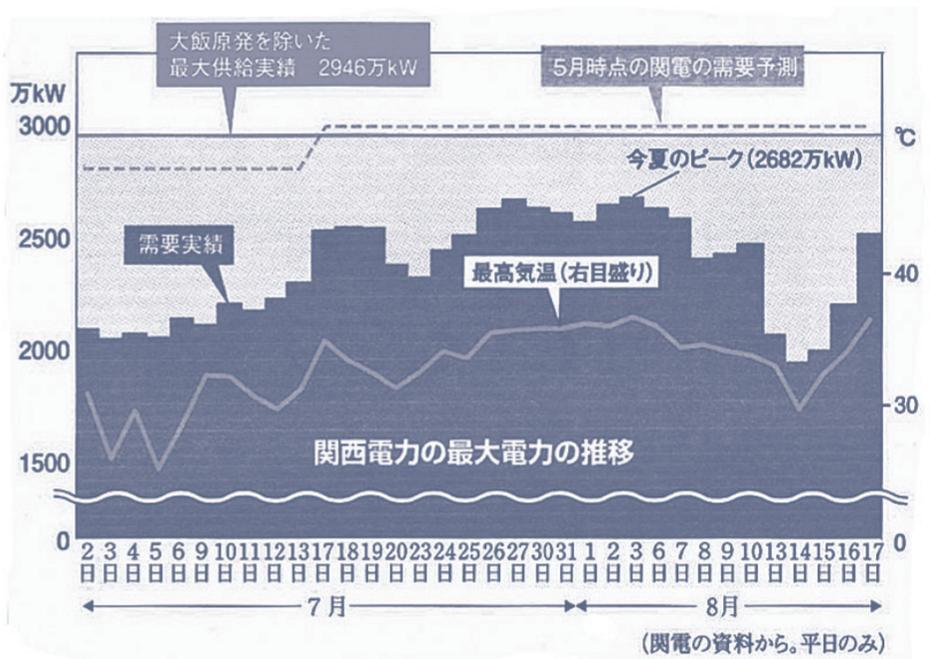


液状化による土壌の流動を指摘

【産業振興局】

大飯原発の稼働がなくとも、猛暑の夏を乗り越えられたことが明らかになりました。国民の中に原発から抜け出す機運が高まっています。海外では、すでに自然・再生エネルギーが、原子力で生み出されるエネルギー量を超え、脱原発が雇用促進とともに経済対策として進められています。

西議員は、「自分の街で使う電気は、自分の街でつくる」という姿勢に立ち、積極的に地元中小企業などを巻き込み、産業化するよう質問しました。神戸市が策定した「六甲山森林整備戦略」において、間伐材などを利用したバイオマス事業が提案されていることを示し、産業振興の観点からも応援することを求めました。



【しんぶん「赤旗」12年8月26日付けより】